




市民協働推進ニーズ調査事業 事業計画書

※各項目はできるだけ簡潔かつ具体的に記載してください。

※枠の幅は自由に変更してください。なお、全体で A4 サイズ 4 ページ以内に収まるように作成してください。

提案団体	団体名	特定非営利活動法人タブララサ
	担当者氏名 連絡先	としね やよい 利根 弥生 住所 〒700-0921 岡山市北区西古松2丁目4-7 電話 086-897-3095 Eメール info@nporasa.org
		合同提案団体
岡山市の協働課	課名等 担当者氏名 連絡先	環境局環境部環境事業課(資源循環推進室) 平田 健二 086-803-1321
目的	<p>昨今 SDGs の機運の高まりなどにより、ワンウェイ(使い捨て)プラスチックをはじめとするごみの排出が問題視されている。市民活動の現場においては、地域でのお祭りや各種イベント(少人数での集まり、会合も含む)において多くの食品容器などがごみとして排出されるが、それらのほとんどがワンウェイ(使い捨て)容器である。環境への配慮の重要性もある一方で、依然としてその「手軽さ」「導入が安価であること」から、イベントごみの排出削減に向けて取り組んでいる事例はまだまだ少ない。イベントへの来場者にとっても、食品容器は使い捨てるものという認識が根強く、それぞれの手を介してポイ捨てごみとなっていることへの意識も薄いのが現状である。</p> <p>イベントの種類は多様で岡山市内でも至る所で開催されており、老若男女、さまざまな立場・趣味嗜好をもつ一般市民が関わる場となっている。そのような場であるからこそごみの排出について意識を変えるきっかけをつくる意義があると考え。来場する市民にとっても、イベントを主催する事業者あるいは地域住民にとっても、イベントによって発生するごみについて今一度見直すタイミングであると捉え、ニーズ調査事業により現状の課題の把握を行う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; text-align: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>イベントにおける ワンウェイ(使い捨て)容器の 使用状況調査</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>イベント参加者が ゴミを捨てる際の 分別方法の情報収集</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>イベントから排出される ごみの総量・ その他課題の調査</p> </div> </div>	

対象及び数量	岡山市内のイベント主催者、関係者を対象に質問紙調査を行う。 想定回答件数は 200 件		
調査方法	<p>○実施団体が、他県の先行事例などを参考に質問紙案を作成し、担当課に確認する。</p> <p>○調査に関する広報を実施団体・担当課が行う。</p> <p>○各イベント主催者へ郵送やメールでのやり取りにて、質問紙への回答を求める。</p> <p>【想定回答件数 約 200 件】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岡山市が主催や共催など関係しているイベントの主催者へは、担当課が質問紙を配布する。</li> <li>・それ以外は、実施団体にて質問紙の配布や、回答をもらうためのアプローチを行う。</li> <li>・必要に応じて、イベント現地での聞き取り調査などを行う。</li> </ul> <p>○返送された質問紙の回答内容は、実施団体にてまとめ報告書の様式にする。</p>		
工程	月	内容	担当
	8 月	先行事例の収集 質問紙の作成	実施団体
	8 月 ～12 月頃	質問紙の配布、回答の回収 回答内容の集計	実施団体 担当課
	10 月頃～	回答結果に基づき、課題等の対応策を検討	実施団体 担当課
	1 月	報告書作成に向けた情報の整理	実施団体
	2 月	報告書作成	実施団体
	2 月	報告書の配布・情報公開	実施団体 担当課
結果の活用	<p>来期以降は岡山市市民協働推進事業として引き続きこの課題に取り組んでいく予定。</p> <p>今回のニーズ調査事業では、岡山市内を中心とした各イベントでの「ごみの排出の現状」「主催者がごみを削減する必要性を感じているか」などを調査する。現段階で多くのイベントが環境に配慮した運営をできていない(あるいは今後改善する余地がある)という仮説のもとその状況を把握する回答の収集を想定しているため、調査だけで終わらないよう課題への対応策を用いてアプローチし続ける必要がある。</p> <p>対応策については例えば、環境に配慮したイベント運営に関する情報の提供や、イベントに参加する一般市民向けの環境配慮の情報提供、あるいは行政と連携した「環境配慮イベント認定制度」などが現時点で想定される。イベントでの環境配慮は各事業者の努力目標とはいえ、環境に配慮したイベントを行う方法がわからず、今後も環境に大きな負荷をかけたイベント運営が市内で続くことは望ましくない。行政が直接個別事業者の行うイベント内容に対して干渉できないことから、NPO 法人タブララサが主体となって行政と連携しながら、現場に寄り添い、上記の課題の改善の糸口を見出していく。</p>		

## 市民協働推進ニーズ調査事業収支予算書

単位(円)

提案事業名	特定非営利活動法人タブララサ
-------	----------------

## (収入)

	費目等	金額
自己資金等	実施主体	自己資金 125,000 円
	合同提案団体	円
	合計(a)	125,000 円
事業収入	事業収入	円
	合計(b)	0 円
岡山市補助金申請額(c)		500,000 円
収入合計(d) = (a) + (b) + (c)		625,000 円

## (支出)

	費目	金額	内訳
経費	人件費	300,000 円	別紙参照
	報償費	50,000 円	先行事例収集に関して
	旅費	30,000 円	現地視察など
	消耗品費	55,000 円	
	食糧費	20,000 円	ボランティアスタッフ昼食代
	印刷製本費	50,000 円	質問紙印刷、報告書 500 部
	通信運搬費	20,000 円	質問紙、報告書発送用
	使用料・賃借料	0 円	
	保険料	0 円	
	委託料	100,000 円	報告書デザイン費
総事業費		625,000 円	※収入合計(d)と同額

※人件費等を積算する場合は、根拠(賃金規定や過去の支払い状況を示すもの)を添付してください。

※報告書の販売等による事業収入を見込んでいる場合は「事業収入」欄に単価、部数、収入額(いずれも見込)を記入してください。

※委託費は補助金交付申請額の3分の1以内に限りです。